

表 平成26農薬年度 特別重点推進品目・重点推進品目・系統育成品目と特徴

分野	品目区分	品目名	特徴と品目概要
園芸殺虫剤	特別重点	ジェイエース水溶剤・粒剤	アブラムシ類やアザミウマ類、チョウ目害虫などの幅広い害虫に効果を示すアセフェートのジェネリック品である。散布剤は水溶剤となっているので、水和剤と比較し、果菜類への汚れが少ない。
	重点	プレオフロアブル	コナガやオオタバコガをはじめとするチョウ目害虫やアザミウマ類に高い効果を示す。天敵やミツバチ等の有用昆虫への影響が少ない殺虫剤である。
	育成	アクタラ顆粒水溶剤・粒剤5	アブラムシ類・スリップス類に卓効を示すネオニコチノイド剤である。特にマメハモグリバエに対して既存のネオニコチノイド剤に優る高い効果を示す。
	育成	エスマルクDF	高性能のBT剤で、コナガを始めとして果菜類のオオタバコガ防除などにも威力を発揮する。「野菜類」「果樹類」に登録があるため、マイナー作物にも使用できる。
	育成	スタークル顆粒水溶剤・粒剤	ネオニコチノイド剤の殺虫剤でアブラムシ、スリップス等に効果をしめすが、特にカメムシ類に対し、既存のネオニコチノイド剤に優る高い効果を示す。
	育成	ハチハチ乳剤・フロアブル	コナガやアオムシなどのチョウ目害虫やアブラムシ類、アザミウマ類などの幅広い害虫に効果を示す。既存の殺虫剤とは化学構造が異なるのでローテーション防除の一剤として使用をお勧めする。
	育成	フェニックス顆粒水和剤・フロアブル	チョウ目害虫に効果が高い殺虫剤で、即効的に食害抑制効果を示し、残効も長い。天敵やミツバチ等の有用昆虫に対する影響が少ない。アブラナ科葉菜類や茶を中心に使用されている。
	育成	サムコルフロアブル10	チョウ目害虫、ハエ目害虫に効果を示す新規の果樹・茶用殺虫剤である。浸透移行性があり、シンクイムシなどへの効果が期待できる。
	育成	アニキ乳剤	チョウ目害虫に効果の高い新規のマクロライド系殺虫剤である。チャノホコリダニ、タバココナジラミバイオタイプQにも効果がある。
	育成	ペガサスフロアブル	チョウ目害虫に効果が高い新規の殺虫剤で、即効的に食害抑制効果を示し、残効も長い。天敵やミツバチ等の有用昆虫に対する影響が少ない。だいた、えだまめを中心に展開しており、だいたでは無人ヘリ散布も可能。
殺ダニ剤	重点	バロックフロアブル	殺卵効果が高く、残効性も長いのが特長である。シーズン早めの処理で最も効果を発揮し、最近増加傾向にあるリンゴハダニにも高い効果を示すすぐれた殺ダニ剤である。系統一元品目。
	育成	ダニサラバフロアブル	既存のダニ剤とは異なる骨格を有し、卵から成虫まですべてのステージのハダニ類に高い効果を示す汎用性の高い剤である。天敵類への安全性も高く、残効も長い優れた薬剤である。
	育成	ダニエモンフロアブル	カンキツのミカンハダニ、ミカンサビダニ等に高い効果を示すダニ剤である。
	育成	ダニゲッターフロアブル	殺卵効果が中心で残効に優れた剤である。ハダニ類、サビダニ類に効果を示す。
園芸殺菌剤	重点	ペンコゼブ水和剤 グリーンペンコゼブ水和剤	保護殺菌剤の中でも適用病害が広く、効果も高いマンゼブを有効成分とし、カンキツ黒点病防除やばれいしょ等のべと疫病防除で大きな威力を発揮している。さらに、うり類炭そ病、ネギのさび病などにも有効である。
		ペンコゼブフロアブル	汚れが少なく粉立ちも少ないフロアブルタイプの保護殺菌剤である。施設の果菜類を中心に評価が高い。トマト、キュウリなどで前日まで使用でき、残効性も長い。最近発生が多いトマトの葉かび病にも有効である。
土壌消毒剤	重点	ソイリーン	高い殺菌効果を持つクロルピクリンと、安定した殺線虫効果を持つD-Dの2成分をすぐれた製剤技術で効果的に配合した土壌消毒剤である。この製剤は、土壌消毒剤にありがちな強い刺激臭を低減しており、加えて除草効果も発揮する。
非選択性茎葉処理除草剤	重点	ラウンドアップマックスロード	優れた技術にもとづく製剤改良により、有効成分のグリホサートがより早く雑草体内に取り込まれるため、従来剤よりも効果が増強され、耐雨性も向上している。スギナに対する効果も向上しており、安全性が高いすぐれた非選択性茎葉処理除草剤である。割安な大型規格もそろっている。